

第 1 回御宿町総合計画策定委員会 摘録

令和 4 年 9 月 2 日 午後 2 時～

御宿町役場 2 回 大会議室

1 開会

石田町長より委嘱状交付

2 町長あいさつ

町では、来年度から新たにスタートとなる第 5 次御宿町総合計画の策定に向け、住民アンケート調査や住民ワークショップ、また、庁内においては、現行計画の進捗状況の評価・検証等を行っている。

委嘱状を机の上に置かせていただいたが、本委員会は、町の各分野における代表者で構成し、御宿町におけるまちづくりの基本的な指針となる、この第 5 次御宿町総合計画の策定をするための委員会である。

多くの住民の声を取り入れ、また、激変する社会情勢に対応できる、持続可能なまちづくりに向けた計画としていきたいと考えており、皆様のお力添えをいただけるよう、どうぞよろしく願います。

3 委員長及び副委員長の選任について

事務局推薦により、井上(秀)委員を委員長に、吉清委員を副委員長に推薦。

4 議題

(1) 第 5 次御宿町総合計画策定方針等について

○ 事務局（高倉）：

（資料 1～5 の説明）

○ 土井委員：

アクションプランと英語で書いているが、名称は実施計画でいいのではないか。

また、10 項目に分かれていたものを今回 7 つに縮めた形になっている。全部引き継がれるのかと思ったが、何項目か引き継がれてないのはなぜか。

ワークショップの参加者はどの年齢層だったのか。20～70 代を交えてやっているのであれば意味がある。ある年齢層だけでやったのであれば、その年齢層を代表するものではないか。

○ 事務局（金井課長）：

1 つ目の、アクションプランとしたことについて。今回はご意見を踏まえて決定したい。現在の計画でアクションプランとしているので、引き継いでいる。実施計画の方が、高齢者がイメージしやすいのであれば採用したい。

10 から 7 つに絞ったが、削除された項目があるのではないかとのことだが、一体で整理したほうがわかりやすいと判断したものがあるが、なくなったわけではなく、表現としてはなくなっているが、継承をしていくこととなっている。

ワークショップは、公募やボランティア、農業・漁業の方に様々な方、20 歳から 70 代の方々、40 代を中心にさまざまな方に集まっていた。

○ 高橋委員：

現行計画の進捗状況は何パーセントぐらいか。

○ 事務局（金井課長）：

計画期間中であるので、検証はいま進めているところである。令和 3 年度では 6 割くらいだった。コロナの影響で、想定していた事業ができていないというのもあり、昨年度は低かったが、実施できていないのは 4 つぐらいと記憶している。

○ 高橋委員：

せっかく良い計画でも、絵に描いた餅にならないようにお願いしたい。

○ 井上委員長：

もともと 10 年の 5 年・5 年でやられてきたと思う。前期 4 年・後期 4 年の 8 年にした理由をお聞きしたい。

○ 事務局（金井課長）：

計画は策定の法的義務がなくなり、自治体の状況に併せて自由につくれるようになった。社会の変化が大きく、ずれが大きくなるということが一点ある。また、第 2 次総合戦略も策定しているが、期間のずれも生じている。総合計画の中でも人口減少の課題が大きくなっている。総合戦略も一体化してつくることや、町長との任期とのずれも出ているなど事務的な部分も含めて判断した。

○ 井上委員長：

他にございますか。次の議題、アンケート結果について。

（2）住民アンケートの結果報告について

○ 事務局（高倉）：

（資料 6 の説明）

○ (株)ジャパン総研 志村：

（資料 6、6-2 の説明）

吉清副委員長：

項目はだれが考えたのか。

- 事務局（高倉）：
業者の提案をいただいて、事務局で確認して作成した。
- 吉清副委員長：
計画策定のために作成したのだとすれば、計画策定に活かすことができるのか。第5次でどこまでやれるのか。
- 事務局（金井課長）：
回答は50%弱の回収率で、高齢の方が高い傾向がある。今回のアンケート結果をベースにするということではなく、住民の意見があることを踏まえて、今後の事業を検討していく。
- 北村委員：
回収率が低めと感じたが、年代別に傾向が出てれば教えてほしい。
- 事務局（金井課長）：
0～80歳まで5,278人を対象とした。18～39歳では796人のうち300人、40～64歳には2,117人のうち500人に発送し、65歳以上には2,374名のうち400名を抽出し、合計1,200名に送付している。
- (株)ジャパン総研 志村：
細かい数字は今確認できないが、若い方の回収率が低くなっていることは明確である。
- 堀川委員：
「問 8-1 あなたが住み続けたいと思う理由を教えてください。」について、選択肢「3. 子どもの生活・教育環境が良いから」「4. 安定した仕事・収入を得る場があるから」などが低いことをどのように読むか。
- (株)ジャパン総研 志村：
御宿のここがいいからということではない理由で住み続けている人が多いところは課題と考える。
- 事務局（金井課長）：
暮らしたい方の理由なので、ここが伸びてこないといけないという課題である。ここを改善することで、住み続けてもらい、移住してきてくれるところになる。暮らしたい理由の上位にくるように考えていかねばならない。
- 北村委員：
単純に生活・教育環境や職に満足していないことも考えられるが、「5. 住み慣れていて愛着があるから」「10. 家や土地を持っているから」などが高く、積極的に御宿を選ぶ理由が低いことが課題である。移り住んできた方がどう答えているかをみるとよい。

(3) 住民ワークショップについて

- 事務局（高倉）：
（ワークショップの概要説明）
- (株)ジャパン総研 志村：
（資料7の説明）
※質疑なし

(4) 策定スケジュールについて

- 事務局（高倉主査）：
（資料8の説明）
※質疑なし

5 その他

- 土井委員：
事務局にお願いがある。資料が手元に来たのは昨日だった。これだけの量だと、事務局の一方的な進め方になる。あと会議は2回しかない。資料は少なくとも1週間前に、十分に読む時間がほしい。
- 事務局（金井課長）：
1週間前を目途にお早めに配布し、十分に読んでいただけるようにしたい。
- 事務局（高倉）：
委員の報償について。公職にある方以外、1回につき3,000円の報償費がある。振込口座確認書を配布するので、事務局まで提出ください。
- 事務局（金井課長）：
その他お気づきの点があれば、事務局までご連絡いただきたい。
- 井上委員長：
膨大な資料で質問もまとまらない。くったくのない意見をいただいて策定にあたりたい。
- 井上(宙)委員：
絵にかいた餅という言葉がでた。まずお金をどうするのか、ということを考えてほしい。お金がないということでは困る。予算の方は宜しくお願い致します。
- 事務局（金井課長）：
財源についても推計も併せて行いながらお示しして、実現可能な計画にしていきたい。
- 井上委員長：
途中1時間が経過したあたりで休憩をとることも考えてほしい。

6 閉会
